

### 施策の柱3 個性を輝かせる教育・支援システムの充実

各地域において各学校等の取組を支援し、小学校就学前から高等学校卒業までの切れ目のない支援を行う支援システムの充実を図ります。

#### 施策の内容

- (1) **地域の特別支援教育を支える「エリアサポート体制」の充実**  
県内どの地域においても子ども一人一人の多様な学びを支援でき、小学校就学前から高等学校卒業までの切れ目のない支援ができるエリアサポート体制の更なる充実を図ります。
- (2) **小・中学校における校内支援体制の充実（新規）**  
障がいのある子どもの能力や特性等にに応じた指導・支援を一層推進するために、小・中学校における校内支援体制の充実を図ります。
- (3) **高等学校における校内支援体制の推進（新規）**  
中・高連携の体制整備や、発達障がいのある生徒等への適切な支援の充実など、高等学校における校内支援体制の構築を推進します。
- (4) **特別支援学校の支援体制の充実**  
近年の在籍児童生徒の障がいの重度・重複化、多様化に対応するため、外部専門家との連携の強化など、特別支援学校における指導の専門性を高めるための支援体制の充実を図ります。

#### 展開する主な取組

- **地域の特別支援教育を支える「エリアサポート体制」の充実**  
エリアコーディネーター等を中心とした通常の学級への支援を通して、各学校が特別支援教育に関する課題を解決できるようになるための支援の充実を図ります。  
一方で、特別支援学校による小・中・高等学校への支援は、情報提供や研修支援を中心とした後方支援への転換を図ります。
- **小・中学校における校内支援体制の一層の充実（新規）**  
特別支援学級に在籍している、又は、通級による指導を受けている全ての児童生徒の個別の教育支援計画等の活用を推進します。  
また、専門家や関係機関等と連携を図りながら、特別支援教育の視点を生かした学校経営を行うことができる体制を構築し、学校が抱える課題を解決する段階的な校内支援体制を確立します。

○ 中・高連携による進学支援体制の強化

高等学校受検時や入学後に必要な合理的配慮が提供されるよう、中学校や特別支援学校中学部と高等学校間の円滑かつ適切な引継ぎによる進学支援体制の構築を推進します。

○ 高等学校における発達障がい等に対応した支援体制の充実（新規）

発達障がい等のある生徒が抱える様々な困難を支援するため、高等学校拠点校における「通級による指導」を生かす校内体制の構築や担当者の専門性向上を図ります。

また、拠点校による周囲の学校等への啓発を通して、高等学校における特別支援教育の推進を図ります。

○ 外部専門家等の活用による特別支援学校の支援体制の充実

医療機関の専門家と教職員とが連携する医教連携や、大学等の関係機関の専門家と教職員とが連携して指導を行えるようにするなど、特別支援学校における支援体制の充実を図ります。

【展開イメージ】多様な学びを支え、個性を輝かせる教育・支援システムの充実

